

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東  
 コード番号 9687 URL <https://www.ksk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 信之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 八木 秀政 TEL 042-378-1100  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,562	6.5	950	△1.4	979	△0.9	652	△1.9
2019年3月期第3四半期	11,796	5.8	963	12.3	989	11.6	664	11.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 711百万円 (29.1%) 2019年3月期第3四半期 550百万円 (△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	109.39	107.08
2019年3月期第3四半期	110.27	108.07

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	14,612	11,058	74.8	1,825.25
2019年3月期	15,270	10,842	70.3	1,805.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,925百万円 2019年3月期 10,734百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	94.00	94.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				51.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,450	6.3	1,450	6.0	1,490	6.2	1,000	7.3	167.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,636,368株	2019年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,650,571株	2019年3月期	1,691,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	5,960,979株	2019年3月期3Q	6,025,147株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、良好な雇用環境と所得情勢を背景に、個人消費や企業の設備投資などの内需が引き続き堅調で、緩やかながら拡大基調で推移いたしました。一方、世界経済は保護主義的な通商政策を背景とした貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢等の不確定要素があり、不透明感が一層強まっております。

当社グループの属する情報サービス産業界におきましては、働き方改革への取り組み等、企業における生産性向上や業務効率化を目的とした投資需要に加え、AIやIoT、RPA等の分野にも注目が集まり、堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループでは積極的な採用活動の展開による新卒・中途採用の人材確保に努める一方、新入社員に対しては3ヶ月にわたっての基礎教育を実施する等により、人材育成、早期戦力化に向けた成長投資を積極的に行うことで、拡大する市場の需要へ機動的に対応できる体制づくりを整えてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,562百万円で765百万円の増加（前年同期比6.5%増）と前年同期比で増収となり、売上総利益は2,633百万円で169百万円の増加（前年同期比6.9%増）と前年同期比で増益となりました。一方、積極的な人材確保等に伴う販売費及び一般管理費の増加により、営業利益につきましては950百万円で13百万円の減少（前年同期比1.4%減）と前年同期比で減益、経常利益につきましては979百万円で9百万円の減少（前年同期比0.9%減）と前年同期比で減益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては652百万円で12百万円の減少（前年同期比1.9%減）と前年同期比で減益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (イ) システムコア事業

車載の組み込みソフト開発業務に関しては堅調に推移していることから、売上高は2,387百万円（前年同期比0.8%増）となりました。一方、半導体設計業務に関しては、半導体市況の悪化に伴う調整の影響が稼働率の低下につながっていること等から、セグメント利益は583百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

#### (ロ) ITソリューション事業

各種ソフト開発の需要が増加していることから、売上高は3,131百万円（前年同期比5.8%増）となりました。一方で、自社開発のパッケージソフトウェアの改良や開発体制の整備を行ったこと等から、セグメント利益は295百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

#### (ハ) ネットワークサービス事業

堅調な需要に支えられ、引き続き規模が拡大しております。業界未経験者の中途採用も行なうなど継続的かつ積極的な人材投資を行なった効果に加え新卒社員の戦力化により、受注機会を的確に捉え、増加する需要に対応してきたこと等から、売上高は7,043百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は1,489百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

総資産は、14,612百万円と前連結会計年度末に比べ658百万円の減少となりました。これは主に、流動資産において仕掛金が96百万円、有価証券が101百万円それぞれ増加した一方で、流動資産において現金及び預金が161百万円、受取手形及び売掛金が496百万円、固定資産において投資有価証券が42百万円、無形固定資産が92百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

負債は、3,553百万円と前連結会計年度末に比べ875百万円の減少となりました。これは主に、固定負債において退職給付に係る負債が14百万円増加した一方で、流動負債における買掛金が20百万円、短期借入金が60百万円、未払法人税等が321百万円、賞与引当金が587百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

純資産は、11,058百万円と前連結会計年度末に比べ216百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により652百万円増加し、配当の支払により558百万円減少したことから93百万円、資本剰余金が11百万円、その他有価証券評価差額金が44百万円とそれぞれ増加したほか、ストックオプション権利行使に伴い自己株式が27百万円減少したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月26日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,443	4,282
受取手形及び売掛金	3,541	3,045
有価証券	500	601
仕掛品	137	234
原材料及び貯蔵品	1	1
その他	215	177
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	8,837	8,342
固定資産		
有形固定資産	584	580
無形固定資産	291	198
投資その他の資産		
投資有価証券	4,580	4,537
その他	989	952
貸倒引当金	△12	—
投資その他の資産合計	5,557	5,490
固定資産合計	6,433	6,269
資産合計	15,270	14,612
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	215	195
短期借入金	60	—
未払法人税等	381	59
賞与引当金	1,182	595
その他	1,180	1,275
流動負債合計	3,019	2,126
固定負債		
退職給付に係る負債	1,171	1,186
資産除去債務	42	46
その他	194	194
固定負債合計	1,408	1,427
負債合計	4,428	3,553
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,644	1,655
利益剰余金	8,554	8,648
自己株式	△1,118	△1,091
株主資本合計	10,529	10,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	290	335
退職給付に係る調整累計額	△85	△71
その他の包括利益累計額合計	205	264
新株予約権	102	127
非支配株主持分	4	4
純資産合計	10,842	11,058
負債純資産合計	15,270	14,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	11,796	12,562
売上原価	9,332	9,928
売上総利益	2,463	2,633
販売費及び一般管理費	1,500	1,682
営業利益	963	950
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	8	9
その他	8	6
営業外収益合計	31	29
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	4	-
その他	0	0
営業外費用合計	5	0
経常利益	989	979
特別利益		
受取保険金	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	990	980
法人税等	325	328
四半期純利益	665	652
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	664	652

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	665	652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	44
退職給付に係る調整額	18	14
その他の包括利益合計	△114	59
四半期包括利益	550	711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	550	711
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。



(セグメント情報等)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,369	2,958	6,468	11,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	61	14	75
計	2,369	3,019	6,483	11,872
セグメント利益	617	306	1,296	2,220

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,220
セグメント間取引消去	83
全社費用(注)	△1,339
四半期連結損益計算書の営業利益	963

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,387	3,131	7,043	12,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31	11	42
計	2,387	3,162	7,055	12,605
セグメント利益	583	295	1,489	2,368

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,368
セグメント間取引消去	85
全社費用(注)	△1,503
四半期連結損益計算書の営業利益	950

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。